



2026年7月2日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A B E J A
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 岡 田 陽 介
(コード番号：5574 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 英 一 樹
(TEL. 03-6387-9222)

**NEDOの採択を受け、川崎重工業、ファナック、FingerVision、安川電機などが進める
「製造現場視触覚データ収集によるVTLA基盤モデルに向けたデータセットの構築」に参画**

当社は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）が進める「製造現場視触覚データ収集によるVTLA基盤モデルに向けたデータセットの構築」（以下「本プロジェクト」）に参画することをお知らせいたします。

本プロジェクトは、川崎重工業株式会社、国立大学法人大阪大学、ファナック株式会社、株式会社FingerVision、株式会社安川電機が連携し、NEDOが公募した委託事業である「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／データエコシステムの構築等に関する研究開発（GENIAC）」に提案し、採択されたものです。

本プロジェクトにおいて、当社は、大阪大学より委託を受け、関係各所と連携し、基盤技術の高度化を担ってまいります。

なお、本件が今期の業績に与える影響は現時点で軽微と見込んでおりますが、中長期的に当社の業績の向上に資するものであると考えております。今後、公表すべき事項が発生した場合には速やかに公表いたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上



各位

2026年7月2日
株式会社 ABEJA

ABEJA が川崎重工業、ファナック、FingerVision、安川電機などが、
経済産業省・NEDO の採択を受け進める
「製造現場視触覚データ収集による VTLA 基盤モデルに向けたデータセットの構築」に参画



人と AI の協調により「ゆたかな世界を、実装する」株式会社 ABEJA（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：岡田 陽介、以下「ABEJA」）は、経済産業省・NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が進める「製造現場視触覚データ収集による VTLA 基盤モデルに向けたデータセットの構築」（以下、本プロジェクト）に参画することをお知らせいたします。

本プロジェクトは、川崎重工業株式会社、国立大学法人大阪大学、ファナック株式会社、株式会社 FingerVision、株式会社安川電機が連携し、経済産業省・NEDO が公募した補助事業である「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／データエコシステムの構築等に関する研究開発（GENIAC）」に提案し、採択されたものです。

ABEJA は、大阪大学より委託を受け、関係各所と連携し、基盤技術の高度化を担います。

■ 背景

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ABEJA Platform を中核に、顧客の AI 活用を実運用として成立させ、継続的な高度化を実現するエンタープライズプラットフォーム事業を展開しています。ABEJA Platform は、AI を PoC（概念検証）ではなく実運用として成立させ、Agentic AI による意思決定と Physical AI による実行を統合することで、データ、意思決定、オペレーションを一体的に扱い、リアル空間における業務の高度化を支える実装基盤です。

現在、日本の製造業では、熟練作業者の減少、生産の高度化・多品種化への対応が課題となってお



り、従来の自動化技術では対応が難しい高度作業のデジタル化が求められています。特に、触覚や力覚などの非視覚情報を含めた作業への AI 活用による自動化の実現が期待されています。

一方で、AI・ロボティクス分野における国際競争が加速する中、日本の製造業が長年蓄積してきた高信頼・高品質な製造データを活用することが産業競争力強化の鍵とされています。

本プロジェクトでは、これらの課題に対し、視覚・触覚など複数の感覚情報を統合したデータ基盤とモデル技術を開発し、製造現場における高度な作業の再現・自動化を実現するとともに、産業競争力の強化に貢献します。

■ 概要

本プロジェクトでは、フィジカル AI の製造現場への実装を促進するため、日本を代表するロボットメーカー3社と、大学、センシング分野や IT 分野の企業が連携し、製造現場で収集した視覚 (Vision)、触覚 (Tactile)、言語 (Language)、動作 (Action) に関するデータを統合的に扱うことができる「VTLA (Vision-Tactile-Language-Action) モデル」の開発を行います。

また、VTLA モデルに適したデータセットの設計・収集・蓄積を行い、データエコシステムの構築をすることで、これまで困難であった複雑かつ繊細な手先作業の自動化などを実現します。

ABEJA は、関係各所と連携し、データセット設計やデータエコシステムの設計を進めてまいります。

<本プロジェクトの主なポイント>

1. ロボットメーカー3社が共同参画して、データ仕様・収集基盤を共通化し、様々なロボットやデバイスで利用できるデータセットを構築
2. 技術の進化スピードを意識した短期間での開発、早期のデータエコシステムの形成
3. 触覚情報領域の知見を有するスタートアップ・大学との連携による VTLA モデルの実証

ロボット業界が一体となって、本プロジェクトを推進することで、製造業のみならず、様々な分野におけるロボット導入を加速し、労働人口減少という社会課題の解決に貢献します。

本プロジェクトにおいて ABEJA は、関係各所と連携し、AI ロボティクス分野の最前線で相互にノウハウを活用し、多様な産業におけるロボットの実装の加速化に貢献できるよう、取り組んでまいります。

公募事業名	ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／データエコシステムの構築等に関する研究開発 (GENIAC)
プロジェクト実施予定期間	2026 年 8 月～2027 年 7 月
公表内容	経済産業省： https://www.meti.go.jp/press/2026/07/20260702001/20260702001.html NEDO： https://www.nedo.go.jp/koubo/CD3_100430.html



■ 株式会社 ABEJA について

本 社	東京都港区三田一丁目 1 番 14 号 Bizflex 麻布十番 2 階
設 立	2012 年 9 月 10 日
代 表	代表取締役 CEO 岡田 陽介
事 業	ミッションクリティカル業務への AI 導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform の開発・導入・運用を行う「デジタルプラットフォーム事業」
URL	https://abejainc.com